

ご挨拶

桑名市文化協会会長 内藤惠介



戦争の世紀が過ぎ、日本の理想とする平和を誠実に希求する新しい世紀になりました。

平成五年、桑名市文化協会が設立されて以来、皆様のご活躍によって大きく発展し、平成十二年度、俳句の葛山たけし先生が桑名市文化功労者表彰の栄に輝かれました。文化協会にとつてもひじょうに名誉なことです。

本年、桑名市において、「東海道宿駅制定四百年」「桑名開府四百年」記念事業が計画され、多くの会員の皆様がその準備の段階か

ら参画されて、その計画が次々と実現されることと思います。

さて、桑名市民芸術文化祭も第九回を無事終了し、次年度は第十回の節目を迎えることとなります。

個性豊かな皆様がお互いに協力しあってこれを一つの区切りとして、更に新しい文化創造をご活躍されることを期待します。

きびしい社会の中で、生活を少しでも豊かにするために、地域文化の向上発展につとめてまいりました

いと願っています。



平成13年3月1日
第 9 号
桑名市文化協会
桑名市中央町2丁目37
TEL 24-1361



桑名市文化功労者表彰
俳句の葛山たけしさん

本年度の桑名市文化功労者に、桑名市文化協会文学部門の葛山たけしさんが選ばれました。

葛山さんは、第18回天狼賞を受賞され、桑名に天狼俳句の道をつけ、定期的に休むことなく句会と機関誌を積み重ねてこられました。また、長年、桑名市中央公民館で俳句の講師を務める等、桑名の俳句界の中心的存在として現在もご活躍中です。

祭太鼓打つため生きて今も打つ

(昭和55年作)

仏生会われにも天を指す手あり
(句集「木場」より)

昨年度に統いての今回の表彰は、本協会にとつてもたいへん喜ばしいことです。今後も、会員の皆様のご活躍を期待しております。

【コミュニティプラザ】

【六華苑】

【市民会館】

11.12	ドラマ「桑名発」
11.19 ～ 11.23	美術展
11.26	子どもトーク

11.2 ～ 11.3	華道展
11.3	茶会
11.25 ～ 11.26	百人一首かるた競技初心者講座
11.25 ～ 11.26	彫型画による年賀はがき作り

11.2～5	文芸展
11.3～5	九華桑名菊花展
11.3	音楽のフルコースパート5
11.5	芸能の祭典
11.5	ざくばらんトーク(8)
11.23	吟剣詩舞道の祭典
11.23～26	趣味教養展
11.23～26	水石展
11.25～26	囲碁・将棋大会
11.26	ステップDE2000

★各会場での催し★



平成12年11月2日(木)～26日(日)
までの約一ヶ月間、多彩な催しが
くりひろげられました。

第九回桑名市民芸術文化祭

した同じアメリカバージニア州リッチモンド市とは言え、今回は単身赴任、又再び何もかも初めての住まい探し、車購入、もちろん仕事の事等の不安を抱えながらの単独の出発には、とても辛いものがあったと思いますが、何とか役割を果たしての帰国でした。

この間、留守をあずかる私にとっても不安一杯でしたが、自分なりの計画をたて有意義な生活にしようと引っ越し荷物に前回と同様お琴二面を入れました。そして今私の与えられたチャンスとしては、日本では日本的生活、アメリカではアメリカの生活と全く違う生活習慣で戸惑いはありませんが、それぞれの生活を楽しむためいつでも出掛けられる心構えをしていました。

まずは十年の夏に約一ヶ月、久しぶりのアメリカを楽しんできました。この頃にはもちろん住まいも決まり、車も購入し、引っ越し荷物も着いて一段落しておりましたが、荷物整理、掃除、洗濯、家事を交代し、次に渡米第一目的の車の運転免許取得です。以前の免許証は期限切れの為、又最初からバージニア州の教本を読むことに始まり、コンピューターの画面と悪戦苦闘の筆記試験一時間、どうにか合格点だつたらしく次に進む実技試験、自分の車の検定員を乗

せて路上試験コース一周、まずは無事終了。しばらくして、待望の免許証を発行してもらい笑顔で帰宅。アメリカでは一人一台の車社会。免許を取らないと歩けない、自由行動が出来ないので必需なのです。

約二年半の間、数回渡米し、リッチモンドのフードショリーの日本料理店の前でお琴の演奏をしたり、隣の州メリーランド州のお琴の先生宅のお弾き初め、小学校でのミニコンサートと次第に忙しくなってきて楽しい毎日でした。

小学校では、最初に関心を持ってもらう為に、アメリカの曲を演奏し、自分達の知らない楽器（お琴）で、お馴染みの音楽を聞いてびっくりしたり興味を持ち始めってくれました。次にはやはり日本の「さくら」というプログラムを組んで日本の良さもPRしてきました。



アメリカでの演奏会

土、日曜日には、ゴルフ、ショッピング、ワシントンDCの観光へと出掛け、十年来の友人、隣州ケンタッキー（車で約九時間）にも数回訪問し、日本では考えられないような広大な丘の上の一軒家で、TVの「大草原の小さな家」のような、馬、牛が数頭、犬猫が数匹と牧場なみの生活も楽しめてもらって、たくさん活も楽しませてもらっています。

日本でのお琴に対する気持ちを新たにし、研鑽を積んでいきたいと思っています。

日本、米の生活で心の中に共通してありましたのはお琴です。今後は、お馴染みの音楽を聞いてびっくりしたり興味を持ち始めてくれました。次にはやはり日本の「さくら」というプログラムを組んで日本の良さもPRしてきました。

桑名祭発—ドラマ—演劇祭

演劇部門 星野隆二郎

（桑名高校演劇部顧問）

第九回桑名市民芸術文化祭「演劇の祭典」が、十一月十二日（日）桑名市コミュニティプラザで開かれ、四団体の熱演が催されました。

子ども演劇くわなは、映写の絵を使った紙芝居風の斬新な手法で「ヒロシマのピカ」「手ぶくろを買いに」の二本の語り聞かせを行い、リアルな、またほのぼのとした内容で観客を魅了しました。また伊藤ジャズダ

ドラマ！桑名発！（11/12）
於：コミュニティプラザホール



桑名高校演劇部の上演「ふられてたまるか」

高校の演劇においては、刈馬カオス作の「ふられてたまるか」が高校生らしい、熱の込もった演技で桑名高校生十三名によって演じられ、また桑名西高校は、桑名西高校改作の「パンク バン レッスン0」をコミカルに演じました。最後の旗上げ三年目の桑名西高OBによる七嘉豊香作「The SHOCK IN ROOM」は愉快なストーリーと演技で場内に爆笑を巻き起こしました。

他方劇団すがおは、ななわ小劇場において十月六日から三日間かけてラサール石井作「いつでもどこでも誰とでも」を上演し、延べ入場者四百名という大好評を博しました。

剣詩舞とは

芸能Ⅱ部門 片山文華
(桑名市吟劍詩舞連盟)

去る十一月二十三日吟劍詩舞道大会が、桑名市民会館に於いて盛大に挙行されました。

文協の行事を通して流派を越えた交流を計り、良識を持ち輪を広めて行きたいと願いつつ、仲間に交えて頂き感謝申し上げます。

剣詩舞とは、詩吟に合わせて舞います。基本的には紋付、袴着用。剣舞は刀と扇で舞います。

先行する能や日本舞踊の技巧を参考にしながら、その芸術性の追求を表現に真剣に取り組み、時には具体的に又抽象的に表現します。武人の気迫、帶刀、納刀、振りかぶり等の基本動作を取り入れ、芸術的に音楽作品として、如何に二分間の芸術として人々の一生や大自然を表現出来るかを舞います。



吟劍詩舞道の祭典 (11/23)
於: 市民会館ホール

文化祭について

子ども文化部門
伊藤香
(桑名子ども劇場)

子ども文化部門では「子どもトーク」思ったまま感じたまま話そよよ、

ク」思つたまま感じたまま話そよよ、
を開催しました。フォトジャーナリ
ストの伊藤孝司さんの、日本が戦争
で侵略したアジアの被害者たちにつ
いての講演とトークでした。

吟劍詩舞は「礼と節」その心を心
とて精神努力を重ね、伝え、後継
者を育て、又一人でも多くの人に感
動して頂ける舞台作りへと、これか
らも会員一同心を合わせ、大きな桑
名文協の下で、会の発展を願いつ
ます。

が世間話ができる深い話ができる、
人間関係にストレスを抱えているこ
とを解決していくことを。



子どもトーク (11/26)
於: コミュニティプラザ中会議室



伊藤孝司さんの講演

にでもある弱さ、みにくさを認め合
いながら、戦争についてどうするか
を考え合っていかなければいいなと。し
かし、トークの切り口についての司
会の子どもとの準備不足もあり、散
漫になってしまった。今後もトー
クを重ねていく中で、でけていくよ
うになるかなと思っています。

ただ中高生、大学生がこの様に話
す機会は乏しく、その意味ではこの
トークは評価できるかなと思ってい
ます。願わくば社会の中で、子ども
たちが意見を述べる機会が与えられ
ることを。

漢詩、和歌の中から武士道、歴史、
先人の人生訓、花鳥風月の美しさを
学び、練習の場で繰り返し聞いてい
ると自然にその教訓が身に付きります。
吟劍詩舞は「礼と節」その心を心
考にしながら、その芸術性の追求を
表現に真剣に取り組み、時には具体
的に又抽象的に表現します。武人の
気迫、帶刀、納刀、振りかぶり等の
基本動作を取り入れ、芸術的に音楽
作品として、如何に二分間の芸術と
して人々の一生や大自然を表現出来
るかを舞います。

詩舞は品格や叙情性又詩の心を身
体で表現し、吟と舞の「吟舞一体」
に重きを置いて舞うことを心がけま
す。

創作の楽しみ

美術部門 山田輝之
(全日本写真連盟桑名支部)

第九回桑名市民芸術文化祭の美術部門展は、六部門に一四〇点の作品を集めて例年のごとく開催されました。今年も若い人の参加が少なく残念に思いました。多様化するメディアが若い人達の美術に対する関心を失わせるのでしょうか。



昨年、四日市市の百貨店で展示された写真展「小さな写真家たち」は、トルコ北西部を襲った大地震で被災した子供たちが、自分たちで写真を撮り、焼きつけた白黒の写真で、被災地の日々の生活を生き生きと伝え

第5回「音楽のフルコース」について

音楽部門 加藤卓 (ZACK-BEAT)

はじめに、第五回音楽のフルコース開催にあたりまして、各関係の方々のご協力心より御礼申し上げます。

さて、二十世紀最後の「ミレニアム音楽のフルコース」。

様々な音楽を心ゆくまで、優雅な気分で楽しんでいただこうと、五年前より文化協会音楽部門会員手作りで開催させていただいております。

回を追うごとに会員出演団体も増え、華やかな催しものになっております。今回は、舞台演出、出演順の組替えなどにより、過去最高の入場

ていました。これは大学生を中心とするNGOが震源地イズミットのテント村で開いた子ども向けの写真教室の作品で、教室は震災で傷ついた心をいやすための試みでした。

今日の社会状況は私達にとって厳しく、生きるためには、何らかのストレスをかかえていない人のほうが多いと思いますが、美術を趣味とすることでストレスを解消して、より楽しく積極的な生き方ができるようになります。たとえば写真を始め

ると、最初は自分の手で美しいものを作り出すという素朴な楽しみが味わえます。ただし、これは写真に限らず、絵画や書道、工芸その他、造形美術に共通するのですが、創作の楽しみに付随して、いろいろな楽しみがあります。同好の友人達ができる楽しみ、美しい自然やすてきな人達との出会いの楽しみ、さらには自分がこの時代にいきたことの証を後世に残せる楽しみに至るまで、数えればきりがありません。

音楽のフルコース パート5 (11/3) 於:市民会館ホール



グランドフィナーレ



ZACK-BEAT

フルコース」に向かって、会員一同新たな気持ちで臨みたいと思っておりますので、皆様方のより一層のご協力をよろしくお願い致します。

ミニニアムダンス

芸能Ⅲ部門 伊藤好子

(伊藤好子&ダンシングステップ)

十一月二十六日に行われました洋舞の祭典、ステップDE-2000では毎年、各部ごとにそれぞれの演出をしています。会場に来て下さるお客様からは「舞台をずっと観ていても飽きさせずとても楽しかった。」という感想を頂きまして、一同とても感激致しました。

第一部でのジャズダンスは、劇団ですがおのお一人にサンタクロース役をお願いして、会場を盛り上げることに一役買って頂く事が出来ました。団員達のサンタコスチュームで、会場との一体感も味わい、充実した舞台となりました。

第二部は、初共演でありますフ

メンコ・ルナでした。フラメンコ独特の世界へお客様を誘い、会場を魅了しながらあこがれも、抱いた舞台でした。
第三部のモダンバレエでは、数々の演出で会場をあつと驚かせてくれました。華麗な衣装にしなやかなダンスも、とても魅力的でした。
これからも芸能部門Ⅲに、他のグループ参加を呼びかけ、それぞれに個性的な持ち味を生かしていきます。そして参加者全員で作り上げる、一體感のある舞台づくりを目指していきたいと思っております。

ステップ DE 2000 (11/26)
於：市民会館ホール



元気いっぱい、パワーあふれる舞台

国際文化交流

社会文化部門

西羽晃

(国際文化交流委員会)

社会文化部門は会員が減り続けていましたが、本年に新しく国際文化交流委員会（略称キセック）が加入して、充実してきました。キセックは、一九九二年の市制五十五周年に行われた韓国とハンガリーの演劇公演を支援するために結成されたのが



青木保先生の講演「異文化理解と日本人」

始まりです。その後、韓国やアイルランドなどから、演劇・舞踊・音楽や絵画の団体を招き、桑名で公演や展示をしてきました。また演劇・合唱・日本舞踊・邦楽・茶道などの団体の海外公演を支援して、草の根の交流を積み重ねてきました。

社会文化部門は毎回の市民芸術文化祭には、「ざっくばらんトーク」を実施してきました。今回はキセックが担当して、「異文化理解と日本人」と題して、青木保先生に講演して頂きました。先生は桑名市立明正中学校の卒業で、現在は政策研究大



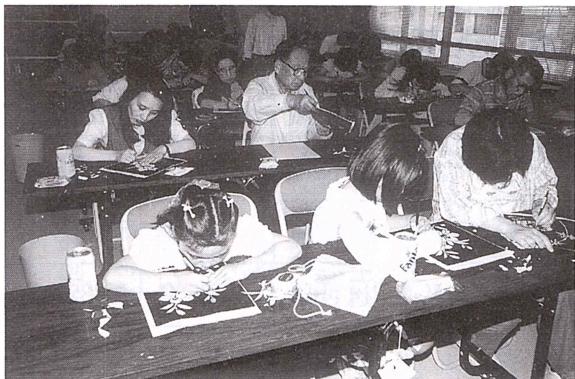
学院大学の教授です。聞き慣れない大学ですが、国立の大学院専門の大学です。専門は文化人類学で、とくにアジア諸国での豊富なフィールドワークに裏づけられた研究をしてこられました。今回の講演の直前には紫綬褒賞を受けられました。
このような素晴らしい先生が桑名の出身であることを誇りに思います。

サークルの現状紹介

趣味教養部門 原田喜信
(彫型画サークル)

当サークルは彫型画会から先生を迎えて、平成三年度から中央公民館にて開講した。

まず先生の教材を、先生また先輩の方々の指導を受け、作品の見学、色々な技法や構図など技術的勉強をし、自分独自の作品が作れるよう創造性を養い励んで、いつまでも楽し



中部電力(株)での文化講習会

彫型画による年賀はがき作り (11/25・26)
於: 六華苑



い教室を長く続けていきたい。

文化協会内の活動では、十二年度

は、中部電力(株)桑名電力センター
会議室で簡単な絵柄を彫る文化講習

会を開催し、後日センター玄関ロビー
で展示会も行う。

秋にはコミュニティプラザの展示、
六華苑会議室にて自分だけの年賀状
作りも毎年参加者も増加して定着化
してきた。

また春の文化市場ではサークルの
作品つくりを様々な発表形態で広め
ていき、他の団体との交流出会いを
もとめて、普段の様子をそのまま会
場で見ていただき交流を深めていき
たく思っている。

華道いけばな展

茶華香道部門 森野精子
(華道小原流)

第九回桑名市民芸術文化祭の華道
展が、十一月二日・三日の両日六華
苑で開催されました。

洋館・会議室・番蔵棟で七流派一
サークルが、伝承花から自由花等、
色彩美、季節美と秋を彩

りました。

花は友達と申しますよ

うに、二十世紀を締めく
くるにふさわしく花をい
ごみ生き甲斐を感じます。

また、和館と芝生の広
場で茶会も催され、お天
気も心配されました。が、
好天に恵まれ盛会で、い
ただいた一服は格別でした。

申し遅れましたが、苑
長さんははじめ関係各位に
は、大変お世話になり感
謝致しております。

華道展 (11/2・3)
於: 六華苑



平成十三年度 六華苑での月益予定

(午前十時～午後三時三十分)

	開催日	茶道担当流派	華道担当流派
三月十七日(日)	二月十七日(日)	裏千家流	MOA山月光輪花
裏千家	遠州流	表千家流	中山文甫会・池坊サークル・いけばな池坊
小原流	竹真流	草月流	池坊
			石田流

※茶会は離れ屋、華道展は番蔵棟・洋館で行います。

平成12年度 桑名市文化協会会員数

部 門	個人会員数	団 体 数	団体会員数	会員数合計
文学部門	2名	6団体	214名	216名
美術部門	27名	22団体	631名	658名
音楽部門	2名	14団体	325名	327名
芸能I部門		35団体	469名	469名
芸能II部門		1団体	456名	456名
芸能III部門	1名	3団体	100名	101名
茶華香道部門	1名	15団体	685名	686名
演劇部門		3団体	15名	15名
社会文化部門	4名	2団体	37名	41名
趣味教養部門	4名	13団体	238名	242名
子ども文化部門	2名	3団体	17名	19名
合 計	43名	117団体	3,187名	3,230名

(平成12年8月24日現在)

【第九回総会予告】

日時	平成十二年五月十三日（日）午後二時から
場所	桑名市民会館 大会議室
内容	昨年度事業報告・収支決算について 今年度事業計画・収支予算について 役員の改選について 他

☆ 各部門ごとに代議員の選出をしていただきます。
詳しくは、各部門長から連絡します。

編集後記

新二十一世紀。桑名文協がますます発展していくよう祈念いたします。

謙虚に、気付き多く、より以上を求めて頑張りたいと思います。皆様のお役に立てるのが、最高の喜びです。

ご協力ありがとうございました。

桑名市文化協会育成補助金の募集について

桑名市文化協会では、芸術文化振興のため、文化協会会員が企画して行う事業に対して補助金を交付しますので、ふるってご応募ください。

課内)で申請書類を受け取り、同事務局へ申請する。

★応募受付期間

平成13年3月1日～平成14年3月31日の実施事業分)

★申請の制限

平成11年度・12年度、補助金を受けた会員は、平成13年度は交付申請できない。

★お問い合わせ

桑名市文化協会事務局
(桑名市教育委員会文化課内)
☎ 0594(24)1361

文化協会事務局(教育委員会文化

広報担当常任理事
委員長
委員
〃〃〃〃〃〃

吉田 敏男
木原 康廣
松尾 輝之
山田 延志
加藤 幸志
伊藤 勝
小出 昇
上木 美代子
星野 隆二郎
福子 映子
原田 貴信
長尾 寿美子
子ども文化部門
社会文化部門
演劇部門
趣味教養部門
子ども文化部門